



確実に歩む五年に

校長 手代木 英明



今年も神宮前小学校を

よろしくお願いいたします。

我が家の年賀状には、百人一首からこの句を娘が選びました。

ところで、下の句は？

「憂しと見し世ぞ 今は恋しき」です。

「丑(うし)年」と「憂し(うし)と見し世ぞ」の「うし」をかけているのですが、この句は、新型コロナウイルスに苦しめられている現代のことを詠っているようです。

そして、赤べこは、故郷の会津の郷土玩具で、天然痘に打ち勝った疫病退散の意味があるものです。

さて、「二日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり。」といわれていますが、皆さんの家庭では今年の目標を立てましたか。目標は、願い事ではありません。お子さんと、次のような話し合いをしましょう。

① 大きな目標を達成するための小さなステップを考えよう。

例えば、6年生が「最高学年として、立派な行動をする。」と目標を立てたとします。志は分かれますが、毎日、どのようなことをするのか分かりません。そこで、その目標を構成する小さな目標を立てると具体的な努力ができます。例えば、「相手に応じたあいさつをする。」「下級生に優しく接し、分かりやすく話す。」「自由勉強をする。」のようにすると、できたことが実感できるのです。「次は、これをやろう!」とステップアップができます。

② 一緒に挑戦する仲間を探そう。

友達や家族と一緒に目標を立てるとくじけそうになった時に「励まし合う」ことができます。マラソンや縄跳びなどコツコツ取り組む目標には、一緒に挑戦する仲間がいると心強いものです。

③ 目標は、人に示そう。

まず、紙に書いて、見えるところに貼りましょう。そして、家族や友達に「今年は、〇〇やるよ!」と話すよいです。有言実行です。子供は、昨日までできなかったことが、急にできるようになることがあります。やらなければ、できる可能性は、ゼロです。根気よく続けるためには、宣言させることが大切です。

もし、お子さんが三日坊主になっていたら、「あなたが立てた目標でしよう。」と声掛けをしてあげてください。三日やって休んだとしても、また始めれば、確実に前進します。ちょっと古いですが、水前寺清子さんの歌に「365歩のマーチ」というのがあります。「一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩下がる。」です。近くにいると、進歩は、気付きにくいものですが、根気よく声掛けしていくことが大切です。今年も、子供にスモールステップで達成感を味わわせながら、確実に歩む「五年」にしましょう。



一富士二鷹三茄子といわれます。どんな初夢を見ましたか？

山中湖 花の都公園からの富士山

一月の生活指導

心を込めて元氣よく

返事や挨拶をしよう!

仕事納め、仕事始めの職員室には、年末年始の挨拶が交わされ、穏やかな雰囲気が出ていました。冬休み中、各家庭での様子はいかがでしたでしょうか。子供たちの手本となるべく、大人が気持ちよく挨拶を交わしている姿を見せることが大切です。教職員同士や、保護者同士、来校された方々と挨拶を交わす姿で、挨拶のできる子供たちを育てていきたいと思えます。

全校児童が輪番で立ち、毎朝、校門前で気持ちよく挨拶する「挨拶隊」も三回目に入りました。しかし、中には、目を合わせてそのまま通りすぎる、うなずくだけ、小さな声でつぶやく、といった挨拶の子もいます。担任以外の先生方や主事さんに挨拶をすることを躊躇してしまいう様子も見られます。小さなアクションを認めつつ、相手を意識した挨拶ができるように粘り強く声を掛けていきます。

(生活指導部)